

■ 著者紹介

北川 秀樹 (きたがわ・ひでき)

1953年生まれ。京都大学法学部卒業、博士（国際公共政策・大阪大学）。京都市府庁文化芸術室、地球環境対策推進室などを経て、現在、龍谷大学政策学部教授。専門は、環境政策、中国行政法。

第1章、第3章3-1~3-3・3-5~3-10、第4章執筆

【主な著書・論文】

『病める巨龍・中国』（文芸社、2000年）

『行政法』『現代中国法講義〔第3版〕』（法律文化社、2008年）

『中国の環境問題と法政策—東アジアの持続可能な発展に向けて』（法律文化社、2008年）

『中国の環境法政策とガバナンス』（晃洋書房、2012年）

『町家と暮らし—伝統、快適性、低炭素社会の実現を目指して』（晃洋書房、2014年）

『中国乾燥地の開発と環境』（成文堂、2015年）

“Environmental Policy and Governance in China”〔ed.〕(Springer, 2017)

増田 啓子 (ますだ・けいこ)

1948年生まれ。法政大学文学部人文科学研究科修了、法政大学文学部助手、筑波大学地球科学系準研究員、国立環境研究所主任研究員、龍谷大学経済学部教授を経て、現在、龍谷大学名誉教授。専門は、環境気候学。

第2章、第3章3-4執筆

【主な著書・論文】

『生物季節』『環境気候学』（東京大学出版会、2003年）

『生物季節』『日本の気候第2巻』（二宮書店、2004年）

『地球温暖化防止の課題と展望』（共編著）（法律文化社、2005年）

『地球温暖化とヒートアイランド現象による温暖化—世界・日本・近畿における気温の長期変動』『環境技術』37巻6号（2008年）

『過去からみた現在の温暖化気候』『環境技術』37巻6号（2008年）

『中国各地の気温変化の実態—地球温暖化対策に向けて』『中国の環境法政策とガバナンス—執行の現状と課題』（共著）（晃洋書房、2011年）

『町家と暮らし—伝統、快適性、低炭素社会の実現を目指して』（共編著）（晃洋書房、2014年）

『中国西北部における近年の気候の変化と異常気象現象』『中国乾燥地の環境と開発—自然、生業と環境保全』（共著）（成文堂、2015年）